



学校だより

令和5年 12月25日
東京都立小平特別支援学校
校長 阿部 智子

肢体不自由教育部門 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671

病弱教育部門・武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

「みんな、よく頑張りました。」



学校の前のイチョウの木の様相は、あっという間に変わりました。季節がぱっと変わってしまったような印象です。どうぞ、冬季休業期間、体調に留意してお過ごしただきたいと思っています。今年一年も児童・生徒はよく頑張りました。御家族、御親戚で集まることの多いこの時期、「二学期のまとめ」・「通知表」を御覧いただき、ぜひ、お子様の一年の頑張りをほめていただきますようお願いいたします。

終業式では、この冬休みの過ごし方と、令和6年の一年の初めに立てる計画についてお話をしました。「ちりも積もれば山となる」ということわざ、「どんな小さなことでも積み重ねていけば、とても大きなものになる」という意味ですが、少しずつでも毎日繰り返して取り組めば、必ず結果はついてくるものです。「後でやればいいや。」と思うのではなく、今できることを、計画的に少しずつ焦らず、丁寧に繰り返しやっ

てみましょう。というお話をしました。何か一つ、積み重ねていきたいものは何でしょうか？ぜひそれぞれの計画を令和6年1月に、一年の初めの計画として立てていきましょと伝えていきます。

【第42回肢体不自由児・者の美術展／デジタル写真展 特賞受賞】

12月13日(水)池袋にある東京芸術劇場で表彰式が行われました。本校から応募した作品の中で、高等部2年、伊藤永遠さんが特賞の「毎日新聞社会事業団賞」



を受賞しました。コンピュータアートの作品名は「月夜の海に溶ける鯉」。「海に溶ける…」というフレーズが素敵だなど、アート作品だけではなく、「題名も大事なものである」と、私が感じたところです。本人から話を聞くと、「海に溶ける」という言葉については、作品を応募するにあたり、友達と意見を出し合い決めたのだそうです。自分の作品に題名を付けるとするとど



のような言葉を選ぶのか、「作品にこだわり、言葉にこだわる」ことの大切さ、おもしろさを、改めて生徒から学びました。社会福祉法人日本肢体不自由児協会主催のこの展覧会は42回を迎え、応募

する年齢も様々で学齢期の方ばかりではありません。何年も創作活動に親しんでいる方の中には、在学中から応募し学校を卒業してもなお、挑戦し続けている方もいます。来年、新たに取り組んでみませんか？

【私の一字】

今年の初めに私の一字は「動」くです。と申し上げました。「考えて動く、前に進む、変化させていく」、そういう意識をもってやっていきますと子供たちにも話をしました。しっかりと考えて「急がば回れ」という言葉も忘れずに、細やかに、しなやかに「動くこと」を心掛けてきました。しかしながら、今年も早かった。いかがでしょうか？焦りながら年末を迎えています。

さて来年の私の一字は何にしようか。御家族で顔を合わせ、一年の計について子供たちとたっぷりと話ができるのが、このお正月の時期であろうと思います。新型コロナウイルス感染症も昨年と比べると落ち着いているお正月です。

子供たちには、毎日の生活の中で自分を大切にすること、また、自分が大切にされていることをしっかりと受け止めることの大切さを終業式の校長講話の中で話しました。一つ年を重ねていく上で、コツコツと小さなことを積み重ねていくためには大人も子供も「調整力」を高めていくことは重要です。「言葉にこだわる一年に…」と思います。

校長 阿部 智子